

ベラルーシ公開情報取りまとめ
(10月22日～10月28日)

2019年10月30日
在ベラルーシ大使館

【主な出来事】

- ルカシェンコ大統領、カザフスタンを訪問し、ナザルバエフ初代大統領、トカエフ大統領との会談(10/25)
- ルカシェンコ大統領、ミゲル・ディアス・カネル・キューバ大統領と会談(10/23)
- 米国、対ベラルーシ制裁モラトリアムの1年半の延長を決定。

大統領動静

●ナザルバエフ・カザフスタン初代大統領と会談
(10/25)

ルカシェンコ大統領の発言要旨は以下の通り。

- ・アルメニアで開催されたユーラシア経済同盟のハイレベル会談において、物足りなさを感じた。同同盟の名誉会長であるナザルバエフ氏を呼ぶ必要があると呼びかけた。サンクトペテルブルクでの次回サミットにご出席頂くため、そして、我々が古き時代を思い出し、今後の将来性や戦略を描くために招待状を送った。
- ・トカエフ大統領とも会談を行った。多くの議題につき合意した。

ナザルバエフ初代大統領の発言要旨は以下の通り。

- ・日本の天皇の即位の礼から戻ってきたばかりであるが、本会談を中止するわけにはいかなかった。
- ・12月にサンクトペテルブルクで開催予定のユーラシア経済同盟サミットには参加する。
- ・協力を強化し、相互貿易を拡大していく必要がある。ユーラシア経済同盟は、二国間の障壁を作る物ではなく、二国間協力の発展のための道を開くためのものである。

(10/25 大統領府公式ホームページ)

●トカエフ・カザフスタン大統領と会談(10/25)

ルカシェンコ大統領の発言要旨は以下の通り。

- ・我々の関係は、ますます深化していく。とりわけ、ソ連時代は非常に近い関係であった。両国の経済は常に相互補完関係にあった。カザフスタンが必要とする物をベラルーシが作り、ベラルーシが買いたい物を、

カザフスタンが作る。長年に亘って形成された現在の礎は、非常に価値の高い物である。

- ・ベラルーシとカザフスタンは、ロシアとともに統合プロセスの中心にいる。カザフスタン抜きには、統合の方向に進むことはないであろう。特に、初代カザフスタンは、前大統領の時に、統合プロセスの発起国となった。私は、貴方が非常に難しい時期に政権を取り、経済統合に向け歩んでいることを確認でき嬉しく思う。
- ・二国間の貿易高は2018年に9億ドルに達した。直近3年で2倍に増加した。ベラルーシの貿易黒字となっているが、ベラルーシ側の輸入は良いテンポで増えている。

トカエフ大統領の発言要旨は以下の通り。

- ・ルカシェンコ大統領のカザフスタン訪問は、二国間の友好協力を確認するものであり、また経済、人道、国際関係等の実務における協力へ刺激を与えるものである。
 - ・ベラルーシとカザフスタンは戦略的なパートナーシップ関係にあり、両国民の利益に合致している。
- (10/25 大統領府公式ホームページ)

●ミゲル・ディアス・カネル・キューバ大統領と会談
(10/23)

ルカシェンコ大統領の発言要旨は以下の通り。

- ・カストロ前議長のことをよく知っている。私はよく彼を国家元首の模範として例に出す。
- ・キューバで経済・政治改革が行われていることを見守っている。キューバの成功を期待している。
- ・二国間協力において農業は伝統的に重要な分野である。ベラルーシは、キューバにとって有益な先端的

な知見や技術を共有する用意がある。そしてソ連時代から「自由な島(当館注:キューバを指す)」においても有名であった様に、農業機械に関しても同様に重要である。

・本日、既存の障壁を乗り越える道を決めることができ、我々の経済協力が戦略的パートナーシップの水準まで高まることを確信している。

ミゲル・ディアス・カネル・キューバ大統領の発言要旨は以下の通り。

・ベラルーシは私が大統領に選出されて初めての外遊の訪問国の一つであり、それは、私たちがベラルーシとの関係を優先していることを物語っている。

・大統領選出時の祝電についても、非常に感謝している。

(10/23 大統領府公式ホームページ)

外交

●クラフチェンコ外務次官、欧州評議会閣僚委員会の報告者グループ評議会に参加。

クラフチェンコ外務次官は、欧州評議会によるベラルーシのための 2019～2021 の行動計画の、ベラルーシの評価を報告した。

クラフチェンコ外務次官は、マリヤ・ペイチノヴィッチ・ブリッチ欧州評議会事務総長やヴォイツェフ・サヴィツキ議長と会談を行った。

(10/23 ベラパン通信)

●マケイ外務大臣、ドイツ公式訪問。

マケイ外務大臣は、ドイツ連邦首相府、ドイツ連邦議会を訪問し、その後、ドイツの報道機関とのインタビューを行った。

(10/22 ベラパン通信)

●米国、対ベラルーシ制裁モラトリアム、1年半の延長を決定。

アナトリー・グラス外務省報道官は、対ベラルーシ米国制裁の停止期間延長を受け、「ベラルーシは常に、全てのレベルにおいて、制裁は受け入れがたく、非

生産的であると公表している。この姿勢は、米国の同僚との定期的な交流において、彼らに一貫して伝えている。本事項に関する双方の完全なる理解は合意されていない。石油産業のコンツェルンであるベルネフチェヒムやその傘下の企業に対する制裁は1年半であり、前回の様な1年ではない。これは一定の進展があることを物語っている。今回の決定は、制裁完全撤廃のための一歩であることを期待する。」と述べた。

(10/22 ベラパン通信)

経済

【対外経済】

●ベラルーシ-EU間、1～8月の貿易高、昨年同期比9.4%減少。

(10/25 ベラパン通信)

●欧州投資銀行(EIB)、19年以内にベラルーシに対し9千万ユーロ資金提供の用意。

ワジル・フダコフEIB副総裁は、ワシントンで開催された国際通貨基金と世界銀行の年次総会においてクルトイ・ベラルーシ経済大臣と会談。

両者は、EIBにおけるベラルーシ関連案件数の増加について議論をした。2017年の二者間投資合意書署名以降、EIBはベラルーシに対し総額3億35百万ユーロの資金提供を行っていた。年内には世界銀行と共同で、エネルギー使用の拡大に関する案件(総額9千万ユーロ)への融資を検討している。また、将来的に、充電インフラ、健康システム近代化、輸送ポテンシャルの向上のための案件への融資の可能性や2020年以内にEIB総裁のベラルーシへの訪問についても協議された。

(10/23 ベラパン通信)

●欧州復興開発銀行(EBRD)、ベラルーシに橋・道路近代化案件のため2億59百万ユーロの資金提供の用意。

スマ・チャクラバルティEBRD総裁は、ワシントンで開催された国際通貨基金と世界銀行の年次総会に

においてクルトイ・ベラルーシ経済大臣と会談。

両者は、国営セクターや輸送セクターにおけるERBRDの融資案件に関する協力水準について議論を行った。現在、EBRDは、ミンスク-ヴィテプスク間のM3高速道路近代化案件、複数の橋近代化案件への融資(総額2億59百万ユーロ)を検討している。

また両者は、EBRDの2020~2023年にかけてのベラルーシに対する支援戦略の準備や、2019年11月22日に予定されているEBRD・東方パートナーシップ投資サミットへのベラルーシの参加や、2020年2月7日に予定されている第一回外国投資評議会の開催に関し協議をした。

(10/23 ベラパン通信)

●ルマス首相、ロシアIT産業特区「スコルコボ」で開催されたオープンイノベーションフォーラムに出席。

ルマス首相の発言要旨は以下の通り。

・ベラルーシにおける、IT産業特区「ハイテクパーク」は、2017年12月に発布されたデジタルエコノミーに関する大統領令によって発展への強い刺激を受けている。

・我々は、創造性やイノベーションのための条件整備、官僚主義の排除を決意した。「ハイテクパーク」の入居企業は、非常に良い法制度の中でビジネスや取引を行うことができ、優遇税制措置を享受できる。さらに監督機関の介入を防ぐようにしている。

・結果はすぐに現れた。入居企業の輸出や売上は、年間30~40%の成長を遂げている。今年は20億ドルを超える見込みである。

・国民一人あたりのソフトウェア開発額は、東欧や独立国家共同体(CIS)内でトップレベルである。

・ベラルーシ国内エンジニア給与は、国民平均の3倍以上ともなり、結果としてIT分野の人材流出問題に対処できている。かつてベラルーシから流出した頭脳は、徐々に戻りつつある。先週、大統領は、ハイテクパークIT大学の創設を支持した。

・一方で、国内のデジタル化には依然問題がありロシアやその他の国から学ぶ必要がある。そのため、ユーラシア経済連合やCIS内での知見共有だけではな

く、域内におけるデジタルプロセスの同期化を支持したい。

・その一つとして、ユーラシア経済連合共同のベンチャーキャピタルの創設を提唱したい。

(10/22 ベラパン通信)

【国内経済】

●ベラルーシ、2019年9月の公務員給与が、2018年8月対比8.9%増加。

2019年1~9月の公務員平均月給は815.8ルーブルである一方、2019年9月の平均月給は884.6ルーブルであった。

(10/26 ベラパン通信)

●ベラルーシ、個人事業主数が1年で5.2%増加

(10/27 ベラパン通信)

●ミンスク市平均月給(9月)、1516.2ルーブル(8月対比0.2%増加、昨年9月対比7.9%増加)

高給分野における9月の平均月給は以下の通り

IT分野:4318.3ルーブル

航空分野:3141.6ルーブル

情報通信分野:2027.4ルーブル

化学品:2111.9ルーブル

石油精製:2071.4ルーブル

金融保険:1871.6ルーブル

仕業:1814.4ルーブル

卸業:1790.4ルーブル

研究業:1744.5ルーブル

(10/25 ベラパン通信)

●ベラルーシ、世銀Doing Business2020のランキングで49位(2019においては37位であり、12位後退)

項目別では以下の通り。

登記:30位

建設における許認可取得:48位

電力システム:30位

資産登録:14位

資金調達:104 位

マイノリティ投資家の保護:79 位

租税:99 位

国際貿易:24 位

契約履行:40 位

支払不履行への解決:74 位

(10/24 ベラパン通信)

●ベラルーシ国内、第 3 四半期の実質失業率、3.

9%(第 2 四半期対比 0. 5%減少)

(10/24 ベラパン通信)

(了)